



# 動物レスキュー通信

2017年3月 第46号 (平成29年3月1日発行)

発行元  
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
ペット災害危機管理士 三級  
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

## ワンちゃん人間

### 散歩の大切さ



だんだんと暖かくなり、「少しづつらいな」と思っていたワンちゃんの散歩がづらくなくなってくる季節ですね。主に室内で上下運動をするネコちゃんや犬の群れのリーダーが必要なワンちゃん。今回はそのワンちゃんとの散歩について書いていこうと思います。

#### ワンちゃんにとって人間の存在とは？

飼い主さんと共に暮らしているワンちゃんにとって人間とは同じ種族だと考えているとも思います。同じ種族だと考えているからこそワンちゃんは違和感なく人間と共に暮らしています。元々ワンちゃんはオオカミが進化した群れで生活する動物ですから、飼い主さんやその配偶者、子供、祖母などを「ひとつの群れ」と認識する事が出来るのです。そして隣の家族や親せきなどは同じ種族の「別の群れ」と認識できず、その為、別の群れの相手が自分に対してフレンドリーならば尻尾を振り仲良くできますが、相手が有害な態度を取れば牙をむきます。このような行動はオオカミなどの群れの中での行動と同じです。そして飼い主さんと共に暮らしているワンちゃん他のワンちゃんと仲良くするよりも人間と仲良くする方が得意なのです。その理由はというと、オオカミや犬の群れのリーダーは下のものを力、権力で抑え込みます。怖さのあまりリーダーに従っているという事ですね。しかし人間のリーダー(飼い主

体などの努力で、保護犬や保護猫を引き取る意識は高まってきてはいるが、人は力で抑え込むのではなく愛情で従わせるのです。飼い主さんの言う事を聞いてくれると優しく楽しく可愛がってもらえて、いい事があるからワンちゃんがすすんで従っているという事です。そうでなければ本気を出せばワンちゃんには牙があるし足も速いので、飼い主さんを襲う事も出来れば逃げることもできません。けれどワンちゃんがそれをせずに飼い主さんのもとにとどまり続けるという事は愛情という見えないう絆で結ばれているからだと考えます。しかし愛情の絆できちんと結ばれるには飼い主さんにもワンちゃんをきちんとしつけなどをしっかりと結ばれる努力をしなくてはなりません。その中でも散歩はとても重要な役割を持っています。

#### 散歩はとても大切

散歩は人間社会で生きていくための社会性を身につける大切な経験の機会です。飼い主さん以外「別の群れ」とのコミュニケーションはもちろんです。他のワンちゃんと触れあう事ができる大切な学習の場です。というのも、幼犬の頃は母犬や兄弟犬と一緒に過ごしたワンちゃんは手加減の仕事や暗黙のルールなど、他のワンちゃんと遊び方(コミュニケーション)の取り方を自然と身につけられますが、そうでないワン

ちゃんは他のワンちゃんとのコミュニケーションの取り方が分からない子が多いのです。ですから散歩で種類や大きさ、年齢、性格が様々なワンちゃん同士が出会い、一緒に遊んだり触れ合う事によってワンちゃん同士のコミュニケーションの取り方を学ぶ事が出来るのです。ですがむやみやたらにどのワンちゃんとも触れ合おうと近づくと飼い主さんワンちゃん共に危険な目に合う可能性もありますので、何れも会うようになり飼い主さん同士もコミュニケーションをとれるようになってからワンちゃん同士を遊ばせてあげるようにして下さい。もちろん散歩はワンちゃん同士のコミュニケーションだけの目的ではありません。自らの縄張りを主張するため、自分の存在を周りのワンちゃんにアピールするため、そしてワンちゃんにとってこの世で一番愛する群れのリーダーと自らの縄張りをパレードするという誇りでもあるのです。これらからも分かるように、ワンちゃんにとって散歩とは日々の生活の一部であり、本能を満たすという目的もあるのです。人間にとつては自分の都合で散歩を休んでも大したことはありませんが、ワンちゃんにとっては一大事。飼い主さんはワンちゃんとの散歩を散歩と言う認識よりも任務やお勤めなどと解釈する方がいいのかもしれませんが、もちろん暑すぎる時や寒すぎる時など、散歩の時間帯や方法など、色々工夫が必要ではあります。飼い主さんにも仕事などの事情は存在すると思います。ですがワンちゃんとの生活を始めるという事は、ここを理解しよく考え、覚悟してから共に生活を始めるようにしなくてはなりません。そうでなければワンちゃんだけでなく飼い主さんにも不幸な結果を招いてしまいます。飼い始める前に少し立ち止まって考えるだけでも不幸な子を少しでも減らせる一歩につながるはずです。(詩月)